

令和7年度第1回
青梅市環境審議会
議 事 録

令和7年度第1回青梅市環境審議会議事録

○ 開催日時 令和7年7月7日(月)午後1時30分

○ 会場 永山公園風の子・太陽の子広場 管理事務所1階

○ 出席者(委員9人)

氏 江 規 雄 委員	鮫 島 ひふみ 委員
宮 口 泉 委員	竹 内 俊 夫 委員
榎 戸 茂 之 委員	久 保 安 宏 委員
西 浦 定 継 委員	小 堀 洋 美 委員
廣 瀬 光一郎 委員	

○ 欠席者(委員1人)

船 木 克 彦 委員

○ 説明のため出席したものの職氏名

環境部長	山 中 威
環境政策課長	高 野 剛 志
環境政策課 管理係長	小 黒 秀 幸
環境政策課 管理係	小 椋 雄 太
公園緑地課 課長	塚 田 正 巳
公園緑地課 みどり推進係長	川 島 岳
公園緑地課 みどり推進係	村 木 勇 介
公園緑地課 みどり推進係	橋 本 昌 明

○議事次第

現地視察

場所 青梅丘陵ハイキングコース永山公園および風の子・太陽の子広場周辺

目的 現地状況の確認から得られた知見を、みどりの基本計画に活用すること

開会

1 あいさつ

2 協議事項

青梅しみどりの基本計画(案)について

3 その他

閉会

○配布資料

- ・令和7年度第1回青梅市環境審議会 次第
- ・第12期青梅市環境審議会委員名簿
- ・資料1 青梅市みどりの基本計画（原案）に対するパブリック・コメント実施結果および回答方針
- ・資料2 青梅市みどりの基本計画（案）に対する東京都からの意見および回答内容
- ・資料3 青梅市みどりの基本計画（案）
- ・資料4 青梅市みどりの基本計画今後のスケジュール

現地視察

開会

1 あいさつ

- ・環境部長挨拶

2 協議事項

「青梅市みどりの基本計画」案について

○事務局による説明（資料3-1、資料3-2、資料3-3、資料3-4）

1. 計画改定の目的について

本計画は、みどり豊かな快適で個性的なまちづくりを進めるにあたり、地域の自然的、社会的条件等を十分に勘案しつつ、創意工夫のもとに策定されるものである。

今回の改定では、上位計画である「第7次青梅市総合長期計画」や「青梅市都市計画マスタープラン」に即し、関連する「第3次青梅市環境基本計画」などの諸計画と整合を図るとともに、社会経済情勢の変化などに適切に対応するものである。

2. パブリック・コメント実施結果および回答方針について（資料1）

令和7年3月17日から3月31日までの15日間、広報・市ホームページ・各種SNSを通じて意見募集を実施した。

意見提出者は7人・1団体、意見数は45件であり、5件の意見に対して計画（案）を修正した。

なお、3月14日に関係団体（青梅商工会議所、西東京農業協同組合等7団体）と協議を行うとともに、ボランティア団体16団体に対してパブコメの情報提供を行っている。

3. 東京都からの意見および回答内容について（資料2）

令和7年5月2日から5月28日の期間で、計画（案）について東京都に意見照会を行ったところ、環境局から10件の意見があった。

10件の意見の内容は、関連計画との整合に伴う修正、誤字等の軽微な修正、用語解説の修正等であり、全ての意見に対して修正することで対応した。

4. 青梅市みどりの基本計画（案）について（資料3）

本日、お示しする計画（案）では、資料編を追加している。資料編には、各種アンケート結果、計画の策定経過、用語解説の他、本日の協議を踏まえパブコメの内容も掲載する予定である。

前回の本審議会からの修正点については、人口や公園面積等の数値データを令和7年1月1日時点に更新した。

また、前回の都市計画審議会において、教育の観点からの施策を「みどりを活かす」施策として追加した方が良いという意見をいただいたため、みどりを活かす施策に「3-1-5 教育の場としての活用」を新たに追加した。

前回の本審議会では、ハイキングコースの表示について意見をいただいたため、ハイキングコースの「各地域のみどりのまちづくり方針図」において、「青梅ガイドマップ」に記載のあるハイキングコースを全て記載した。

5. 今後のスケジュールについて（資料4）

本日の協議結果を計画に反映したのち、デザインやレイアウト等の調整を行い、最終案を取りまとめ、次回本審議会にて最終協議を予定している。その後、庁内会議を経て正式決定・公表予定である。

○質疑応答

- ・委員 資料1のパブリック・コメント実施結果および回答方針において、自治会員のボランティア参加についての意見があるが、自治会加入率は今後3割を下回る可能性もあり、これ以上自治会のボランティアの役割が増えると、自治会の機能を維持すること自体が厳しくなる状況である。自治会中心ではなく、広く市民に呼びかけるような表現に修正してほしい。
- ・事務局 みどりと水の協力会などを通じて、既に自治会には御協力をいただいている状況である。表現については検討する。
- ・委員 ハイキングコース等でのトイレ不足は、利用者の満足度に影響を与えるため、市内のトイレ整備を進め、トイレ環境を充実させてほしい。
- ・事務局 青梅駅前や観光拠点では整備が予定されており、公園マップ等でも周知を図ってきたい。
- ・委員 教育との連携強化について、教育活用は「検討」では弱い。「積極的に推進」に変えてはどうか。
- ・事務局 既に保育園や小学校等との取組は一部で実施しており、出前講座やクラフト体験を通じた環境教育も行っている。引き続き、このような取組を拡大していく予定である。本計画案の記載内容に対しいただいた御意見は、今後の検討材料として参考とする。
- ・委員 ボランティア活動とごみ清掃について、有償ボランティア化や環境美化表彰など、市として取り組みの強化が必要である。
- ・事務局 検討していきたい。
- ・委員 表彰制度について、企業などが環境保全に貢献したことを認知・表彰してはどうか。

- ・事務局 現在も環境美化で表彰ある。新らたな制度や広報の強化について検討します。
- ・委員 都市再開発事業と市街化調整区域のみどりの保全について、市街化調整区域のみどりの保全地として守ることが基本だが、将来的には開発への配慮（土地活用等）と代替となる緑地確保の仕組みづくりも必要であろう。
- ・事務局 都市計画マスタープランと連携しながら、仕組みづくりを検討していく。
- ・委員 アンケート分析活用の推進について、市民アンケートから、健康増進・気分転換的での公園利用が半数以上となっている。ニーズに合わせた施策展開が必要である。
- ・事務局 市民アンケートを今後の施策立案に活用していく。
- ・委員 霞川のレンガ敷設歩道の維持管理について、改修された堤防・レンガ敷歩道の維持管理が行き届かず、雑草が繁茂している等、美観の維持が難しい箇所がある。
- ・事務局 東京都による景観配慮を踏まえた整備が進められているが、各種制度を利用しながら、恒常的な維持管理体制について検討が必要であると認識している。

3 その他 特になし

閉会

以 上